



日刊重労千葉

動労千葉結成10周年！

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 | (鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 千葉 (22) 7207番

1989.4.14 No. 3013

89春闘勝利！ 第2波スト決起へ

一方、JR当局は、鉄

には時間延長や労働強化

新小岩地区拠点へ

新小岩地区拠点へ

春闘はいよいよ決着段階をむかえた。

動労千葉は第一波ストを幕張支部、営業協議会の指名ストとして拠点支

部の仲間の総決起を先頭に当局・権力の弾圧。ストップ攻撃をうち破り見事うちぬき、ストなし「連合」春闘の逆風を吹きとばす勢いで第二波ストをむかえている。

一方、JR当局は、鉄

道労連と結託し「経営基盤が確立されるまでは賃上げは抑制する」として回答ならざる回答に終始

している。

断じてこのような態度は許されない。四・五%の賃上げは消費税によつて一切がつさい奪われてしまい実質的には賃下げ状態ではないか。

時短についても実質的

でしかない。

これで「ガマンしろ」などとはトンデモない。

断じて認めるわけにはいかないのだ。

第一波で突破口をこじ開けたわれわれの怒りと決意は高まるのみである。

春闘勝利・竹下政権打倒のかけ声も高く第二波スト決行につきます。一方、JR当局は、鉄

JR貨物の仲間たちへの改悪の口実として「貨物」を引き合いに出し「ガマンしろ」等々と、極めて反動的な対応に終

始しているのである。

こうした対応を突破する道は、団結を固め、貨物の仲間の怒りを共有し、ストライキ貫徹の力で反動の壁をぶち破ることである。

貨物支部は、その先頭

道労連と結託し「経営基盤が確立されるまでは賃上げは抑制する」として回答ならざる回答に終始

している。

断じてこのような態度は許されない。四・五%の賃上げは消費税によつて一切がつさい奪われてしまい実質的には賃下げ状態ではないか。

時短についても実質的

四・一三春闘第一波ストは、幕張支部組合員五十四名を先頭に、幕張電車区から強制配転された営業の仲間もストに加わり、断固打ち抜かれた。「分割・民営化」から二年、ついに運転職場でのストをかちとつたのだ。

十六時八分、五四名の組合員は堂々とストに突

入。意氣軒昂と闘い抜いた。

第一波スト貫徹したぞ！

運転職場スト

強行以後初の4月15日幕張

当局・権力のスト破壊弾劾



この日、当局・権力は動労千葉のスト決起に恐怖し、東中野事故の責任すら取ろうとはしない悪質

職制を先頭に二百名を超えるスト破壊体制を敷き、外との交通を完全に遮断し、幕張支部組合員すら

入。意氣軒昂と闘い抜いた。

た。

われわれは断じてこの奮行を許さない。

幕張支部組合員は、こうしたスト破壊体制と真っ向から対決し、素晴らしい勝利をかちとつたのだ。当局・権力のスト破壊を許さず、いざ第二波へ！

4・15 動労千葉結成

10周年レセプション

・4月15日(土)・千葉県労働者福祉センター
・13時より ▼パネル展・スライド上映もあり

全組合員が血を流し、涙を流し、そして勝利した10年！

構内に入れないなどという暴挙に打って出てきた。

しかも、そうした状況に

も関わらず、私服刑事二〇名の構内立ち入りを許可し、あわよくばストに

突入した組合員を逮捕しようということまで画策したのである。

われわれは断じてこの奮行を許さない。

幕張支部組合員は、こ

うしたスト破壊体制と真っ向から対決し、素晴らしい勝利をかちとつたのだ。当局・権力のスト破壊を許さず、いざ第二波へ！